

令和6年度 第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和6年6月17日(月) 15:10～
開催場所	よこはま動物園ズーラシア 会議室
出席者	(委員) 小宮輝之委員、佐渡友陽一委員、関清美委員、藤崎晴彦委員、間曾さちこ委員
開催形態	非公開
議題	1 令和6年度第1回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案について 2 その他
<p>1 令和6年度第1回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承認</li> </ul> <p>2 視察の感想</p> <p>(委員) よこはま動物園ズーラシア(以下「ズーラシア」という)に関して、日本の動物園で動物地理学展示をやろうとした時に、完全に出来たのはこの園だけ。これはとても価値がある事。世界旅行ができるというキャッチフレーズを大切にしてもらいたい。「オセアニアの草原」は、展示種が普通種になりつつあるが、変化を持せて欲しい。</p> <p>(委員) ズーラシアは一般的な動物地理学展示よりもう一步細かい。このような取り組みはとてもレアケース。徹底的に細かくやっているのは、世界的にみてもレアケースで大変価値がある。</p> <p>(委員) 金沢動物園は大きな動物を飼育展示してきたが、時代が移り変わっていく中で、かつて飼育していた動物が高齢などで死亡したのちに、それが海外から入らなくなってきたから、金沢自然公園に生息している動物や、国内の動物園間で移送・移管ができる動物にシフトしている。しかし理念は変化してほしくないと思う。</p> <p>(委員) 国際的には、動物園を実際に管理している団体が施設を所有しているので、管理をしている団体が主導で動物園運営を検討することが多い。この点、日本では管理運営は指定管理者が行っても、施設所有者が実際に管理運営をしていない自治体になっており、動物についての専門性と意思決定権が分離している。これは本来好ましい形ではなく、日本全体の動物園運営における課題である。</p> <p>(委員) 海外の動物園の土地は役所の持ち物。建物は動物園協会の寄贈。動物は法人の持ち物。建物と動物の所有者が違うので動物園の在り方そのものが決定的に違う。なので、日本は日本なりのやり方を模索するしかない。</p> <p>(委員) ズーラシアのオーギーヒルのレストランでランチを食べたが、暑い中お子様連れの来園者がいて、しかも空いている席を探していて大変そうだなと思いました。利用を中止している席があったので、お客さんの状況に応じて席数を増やすなど柔軟に対応してもらえると良いのではないかと。</p> <p>(委員) 園内が広いので「正面まで何キロ」など、園内に目的地までの距離表示があると移動がしやすい。また表示が古めかしく表示が薄くなっているものも多いのが気になった。</p> <p>(委員) 動物飼育にあたって、全国で事故などが報道されているが、逸走などは特に注意しなくてはならない。例えば、逸走対策などでは、監視カメラ頼りにしてはいけない。自分の目と鍵は自分の手で確認が基本。</p> <p>—事務局 その通りだと思います。しかし、ヒューマンエラーは起こるものでもある。カメラは、逸走を防ぐのではなく、もし逸走していた場合に、気が付かずに寝室に職員が入室することを防ぐものです。それ以外に、入室前の無線確認もあわせて、施錠の動機付けをしっかりとるようにします。</p> <p>(委員) ズーラシアで新たに安全対策として国際連携担当兼飼育管理安全推進担当係長を設置したことは良い取組だ。重要なのは、動物園は仮に事故が発生した場合などに「やり方が悪いから」とソフトの対応に目を向けがちの中、ハード面に対応できるところはしっかりとやる。それに伴いハードを使いこ</p>	

なせるようにソフトをしっかりとやる。という姿勢で、それを体現していることは評価すべき。

(委員) 昨日はネットで世界キリンの日の講演をみて、ひょっとして今日グッズが売っているかな。と思ったが販売がなかった。キリンのグッズを買うと寄附も出来るので、せっかくなら期間限定二日間ではなくて一か月ぐらいは販売しても良いと思う。

(委員) 物販の価格が安いと思う。エコバッグが 800 円で販売しているが 1,000 円にして、うち 200 円を動物園に寄附するにしても売れると思う。寄附の部分では、額としては太陽光パネルを購入できるぐらいの寄附が集まり、動物園の電気を賄うぐらい寄附いただける事が理想。

(委員) SOS 展と関連した販売コーナーがある。展示と連動して販売したキャンペーンで商品のモニターを通して販売が伸びた。良い取り組みなので、是非、販売をモニターして、今後も物販とキャンペーンのコラボの仕組みが出来るようにしてもらいたい。

(委員) 「世界〇〇の日」などの取組で行っているテントブースで保護団体がグッズ販売による寄付活動をするのも悪くはないが、日数が限られている。また、保護団体が対応できる日でないとイベントができない。そのため、保護団体に頼るだけでなく、ズーラシアと物販事業者でイベント企画と実施が出来るような仕組みを作ったほうが、長期的に行える。仕組みを構築することが大切。

(委員) ライオンの展示について、インドライオンとアフリカライオンの差が書かれていない。特徴などが書かれていない。せっかく 2 種飼育しているので違いを明記した方が、動物の良さが分かる。両方 (2 種) 飼っているのは強みで、地理学展示の強い意志を感じる。

(委員) 国際連携担当兼飼育管理安全推進担当係長を設置したことは評価できる。ただ、今後、係長一人でどれだけ回せるのか。係長一人を入れ替えたなら国際交流の技術が継承されないリスクがある。そこをもう少しうまく回る仕組みになってくれると良い。

(委員) ズーラシアはある意味国内ではトップクラスで、非常に立派なハードを造られた。国内では一番しっかりと造った動物園だと思う。ただ、見回っているとちょいちょい荒が目立つというか、手が回っていないという気がする。

### 3 その他日程調整

次回は 9/25 (水) 午後 横浜市役所にて事業評価を実施